

ガンマーリノレン酸

人の体には、体を調節する（恒常性を保つ）「プロスタグランジン」というホルモンに似た働きをする物質があります。例えば、炎症を起こす物質「プロスタグランジンE₂」は、動物性脂肪に含まるアラキドン酸由来の油から合成されます。

一方、炎症を抑える物質の一つは、植物油・リノール酸由来のガンマーリノレン酸から作られる「プロスタグランジンE₁」です。しかし、リノール酸からガンマーリノレン酸までの過程で、様々な阻害因子が原因でプロスタグランジンE₁の合成が低下します。そのような場合にガンマーリノレン酸を摂ると、プロスタグランジンE₁が速やかに作られ、炎症が軽減します。



ポラージ草

●薬のような副作用が無いので、安心して摂取できます。

●阻害因子は：老化・コレステロール・アルコール・インスリン不足・ウイルス・発ガン物質・X線・亜鉛、マグネシウム、ビタミンB6、ビオチン不足等です。

「ガンマーリノレン酸」は、ポラージ草の“種”に最も多く含まれています。

「ガンマーリノレン酸」から作られる プロスタグランジンE₁の働き

- *抗炎症作用：痛み、発熱を起こすプロスタグランジンE₂の生成を抑える抗炎症作用がある。
⇒関節炎・リウマチ等の痛み・発熱・多発性硬化症・膠原病
- *免疫機能：免疫細胞の正常な働きを取り戻す。
⇒喘息・アトピー性皮膚炎・花粉症・その他アレルギー反応の緩和
- *血管拡張：コレステロール合成抑制作用
⇒動脈硬化症・高血圧症・高脂血症・狭心症
- *血栓の予防：血小板の凝血を防ぎ、血栓症を抑制する。
⇒脳梗塞・心筋梗塞
- *神経伝達：末梢神経における神経伝達物質の産出、伝達を調整する。
⇒偏頭痛・多動児・精神分裂症など
- *ホルモン調節：月経前症候群の原因であるホルモンの乱れを正常に戻したり、のう胞性乳腺炎の原因、プロラクチンの作用を阻止する。
⇒インシュリンの分泌を促進、活性化して糖尿病を予防し進行を防ぐ。
⇒唾液と涙の産生を調節する、目と唇の乾燥シェーグレン症候群
- *肥満者：褐色細胞の働きを活発にする。食後の発汗が増加しエネルギーを消費させ減量。
- *その他：小腸の蠕動促進による便秘改善する。
⇒皮膚や毛髪健康維持（抜け毛・フケ・ニキビ・湿疹等の改善）



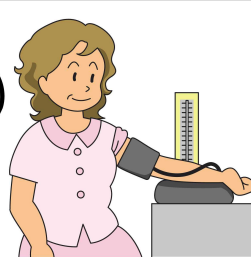
痛み



頭痛



発熱



高血圧



アレルギー